

公益財団法人いであ環境・文化財団

令和6年度 奨学生募集要項

公益財団法人いであ環境・文化財団では、環境分野又は芸術分野を専攻する学生に対して奨学金の支給事業を行い、次世代の人材の育成と教育の発展に貢献することを目的とし、日本国内の大学において環境分野又は芸術分野を専攻する学生で、将来環境分野又は芸術分野で活躍することを志すものに対して奨学金を支給します。

1. 給付額及び給付人数

- (1) 給付額 1人につき、年額20万円を一括支給
(返還の義務なし。他奨学金との併給も可とし、卒業後の進路拘束等はありません。)
- (2) 募集人数 30名程度（環境分野および芸術分野の合計）
- (3) 給付時期 令和6年7月ごろを予定
- (4) 給付方法 奨学生本人の口座に振込み

2. 応募資格

【環境分野】

以下の項目を全て満たしていること。

- (1) 令和6年4月1日現在、本奨学金の対象大学の（注1）のうち学部2年生以上の者（大学院博士課程までを含む）で、大学の正規課程において、将来、環境保全の分野で社会貢献を目指すための科目を履修していること
- (2) 所属大学からの推薦を受けることができること
- (3) 別途定める学力基準を満たしていること（注3）
- (4) 過去において、当財団の奨学金制度による奨学金を受給していないこと

【芸術分野】

以下の項目を全て満たしていること。

- (1) 令和6年4月1日現在、本奨学金の対象大学の（注1）のうち学部2年生以上の者（大学院博士課程までを含む）で、大学の正規課程において、芸術分野（注2）における作品の創作活動を行っていること
- (2) 所属大学からの推薦を受けることができること
- (3) 別途定める学力基準を満たしていること（注3）
- (4) 過去において、当財団の奨学金制度による奨学金を受給していないこと

(注1) 本年度の対象大学（大学院を含み短期大学を除く）は下表の通りです。
 なお、対象大学については毎年度見直しを行い、変更されることがあります。

【環境分野対象大学】計135大学
別表1参照
【芸術分野対象大学】計80大学
別表2参照

(注2) 美術デザイン分野に限るものとし、音楽、演劇等は対象外とします。

(注3) 原則として、GPA (Grade Point Average) が2.5以上の者とします。

なお、GPAによる学力基準を適用することが適当でない大学については、下記の算式により、これに相当する校内学力基準により判定するものとし、様式2による計算の結果で判断します。

評価	合格 (単位習得)				不合格
	S (秀)	A (優)	B (良)	C (可)	D (不可)
点数	100-90	89-80	79-70	69-60	59-0
G P	4	3	2	1	0

ただし、本申請に係るGPAは不合格および認定の単位を計算に含めないものとし、様式2による計算の結果で判断します。

3. 応募方法

下記の必要書類を提出期限までに当財団の事務局宛てにお送りください。なお、各所定様式は、当財団ホームページ (<https://ieaf.or.jp>) からダウンロードすることができます。

下記応募書類のうち(5)推薦理由書、(7)応募理由書、(8)活動実績を記載した書類あるいは作品について、著者・作者の表現が認識できず生成AIのみによって作成された最終成果物の提出は認めません。

在籍大学の奨学金担当窓口を通じて募集いたします(学生からの直接応募は受け付けておりません。)

また、大学(大学院を含む)ごとの応募者数の制限を設けます。1人の推薦者(原則として応募者を直接指導する教授・教員等)が推薦できる応募者は1人とし、各学部あるいは研究科からの応募者数の上限は3人とします。

(※ 例：〇〇大学理学部から3名+〇〇大学院理学研究科から3名 は可)

(1) 奨学金給付願書 (所定様式1) : 1部

(2) 直近年度までの成績証明書(GPAも記載されているもの) : 1部

※1 大学院生のうち修士課程・博士前期課程在学者は学部卒業時の成績証明書および直近年度終了時までの成績証明書を、博士課程・博士後期課程在学者は学部卒業時の成績証明書および修士課程・博士前期課程修了時の成績証明書を提出してください。

※2 成績証明書にGPAの記載がない場合あるいはGPA制度を採用していない大学の場合は、成績証明書に加えて、大学からGPA証明書を取得するか大学から発行された成績表等でGPAが計算できるものを提出してください。

(3) (2)についてのGPA計算書（所定様式2）：1部

※成績を元に前述（注3）の基準で単位数を計算した表を添付してください。総取得単位数には不合格および認定の単位数を含めません。

(4) 所属大学の推薦書（所定様式3）：1部

※ 学長（学部長・研究科長でも可）名等の欄は、ゴム印でも差し支えありません。

(5) 推薦理由書（所定様式4）：1部

※ 推薦理由書は、原則として応募者を直接指導する教授・教員等が記載してください。これら以外の方が記入される場合には、役職のほかに必ず応募者本人との関係を詳細に記載してください。

(6) 個人情報の取扱いに関する同意書（所定様式5）：1部

(7) 応募理由書(奨学金応募の目的や用途を記載した書類)（所定様式6）：1部

※ (7) 応募理由書は今後の奨学金の活用について記載していただくものに対し、(8)の活動実績を記載した書類は、これまでの実績を中心に作成していただくものですので、(8)の書類・作品と同内容とならないよう気をつけてください。

(8) 活動実績を記載した書類

① 環境分野での応募をされる方

・環境分野について、下記のテーマを中心に論じた小論文

※ テーマ：現在及び将来において自身が学問・研究を通じて環境の保全・改善に対してどのように取り組むか

※ 環境分野におけるシンポジウム等での発表や環境政策提言等を行った経験がある場合、その内容にも触れてください。

※ 書式は自由としますが、Microsoft Word等の文書作成ソフトを利用して1,500字以内（A4判片面1ページ程度）にまとめてください。

(文字サイズは11ポイント以上としてください。)

- ※ 「自身が環境の保全・改善に対してどのように取り組むか、活動実績や活動計画を通じて積極的に『アピール』してください。

② 芸術分野での応募をされる方

・作品の写し及びその概要を記載した書類のデータ

- ※ 作品の写しのデータを提出していただくため、財団のサーバー上にフォルダを用意します。応募を予定する方は事前にメールでご連絡ください。この連絡のみ応募者から直接受け付けます。

メールアドレス scholarship@ieaf.or.jp

メールタイトル R6芸術分野応募予定 [大学名] [氏名]

[]内は応募者の情報

- ※ 提出する作品の数は5点以内（シリーズ作品は1点と数える）とし、一人分のデータ容量は200MBまでとします。ただし、動画（映像）作品を提出する場合、容量は1GBまで増量することができますが作品の長さは合計120分以内とします。一般的なパソコンで再生できるデータ形式で提出してください。
- ※ 作者の表現が認識できずAIのみによって作成される最終成果物の提出は認めませんが、作品を構成する要素として利用とすることや、作品制作にあたって参考のため利用とすることは問題ないとしします。ただし、提出作品に利用した場合は、概要を記載した書類にどのようにAIを利用したかの説明書きを付してください。
- ※ 概要を記載した書類の書式は自由とします。作品名、制作年、素材、サイズ等の作品概要および作品解説、コンクール等の受賞歴がある場合にその詳細を含めてA4サイズ2枚以内にまとめてください。
- ※ 作品の写し及びその概要を記載した書類のデータと応募書類(1)～(7)の両方が期限までに提出されない場合は無効となります。

4. 提出期限

令和6年5月13日（月） 当財団事務局必着

学校締切日 4月26日（金）

5. 選考方法等

- (1) 書類審査：令和6年6月予定
- (2) 審査結果通知（給付決定）：令和6年7月中旬ごろに本人及び在籍大学に通知予定

- (3) 採用予定者のほか若干名を補欠として決定し、奨学金辞退者がある場合には順に採用することがあります。

※ 応募書類に不明点等がある場合には、事務局より電話確認をする場合がありますので、ご協力をお願いします。

6. 奨学金支給取消・返還

奨学生が次のいずれかに該当する場合には、奨学金の支給決定の全部又は一部を取り消し、返還を求めることがあります。

- (1) 大学を転学又は退学したとき。
- (2) 外国へ留学しようとするとき。（所属大学で単位が認められる交換留学又は奨学金受給目的達成のための留学を除く。）
- (3) 学業又は性行などの状況により指導上必要があると認めたとき。
- (4) 傷い疾病などのため成業の見込みがなくなったとき。
- (5) 学業成績又は操行が不良となったとき。
- (6) 奨学金を必要としない理由が生じたとき。
- (7) 奨学生として適当でない事実があったとき。
- (8) 在学大学で処分を受け学籍を失ったとき。
- (9) 本財団の事務局からの連絡に長期にわたって応答がないとき。
- (10) 前各号のほか、奨学生として適当でない事実があったとき。

7. 活動報告

奨学生として採用された皆様には受給後の活動報告として、進級時や卒業時にあらためて成績証明書及び活動報告書を提出いただきます。

8. その他

- (1) 応募書類の返却はいたしませんので、ご了承ください。
- (2) 応募に関する学生からの当財団への直接の応募や問い合わせについては、原則としてお受けしておりません。お問い合わせは、各大学の奨学金担当窓口へお願いします。

9. 問合せ・願書送付先

公益財団法人いであ環境・文化財団 事務局

【住所】 〒158-0094 東京都世田谷区玉川3丁目14番5号

【TEL】 090-8875-4496または03-6805-7909

【E-Mail】 scholarship@ieaf.or.jp

【HP】 <https://ieaf.or.jp>

【電話受付時間】 平日10時～17時（土日祝日休み）

別表1 環境分野対象大学

計 135 大学

(太字 33 校は芸術と重複)

北海道大学	帯広畜産大学	公立千歳科学技術大学	北海道教育大学
弘前大学	岩手大学	東北大学	秋田大学
秋田県立大学	山形大学	東北芸術工科大学	福島大学
筑波大学	茨城大学	宇都宮大学	群馬大学
千葉大学	千葉工業大学	埼玉大学	東京大学
東京工業大学	お茶の水女子大学	東京農工大学	電気通信大学
東京海洋大学	東京学芸大学	東京都立大学	慶應義塾大学
早稲田大学	上智大学	明治大学	法政大学
中央大学	立教大学	東京理科大学	青山学院大学
学習院大学	専修大学	芝浦工業大学	工学院大学
日本女子大学	国士舘大学	成蹊大学	大妻女子大学
東京都市大学	東京電機大学	日本大学	東洋大学
東京農業大学	東邦大学	明星大学	武蔵野大学
玉川大学	横浜国立大学	横浜市立大学	北里大学
東海大学	神奈川大学	新潟大学	長岡技術科学大学
富山大学	富山県立大学	金沢大学	石川県立大学
福井大学	福井県立大学	山梨大学	信州大学
長野大学	岐阜大学	静岡大学	静岡県立大学
常葉大学	名古屋大学	名古屋工業大学	豊橋技術科学大学
名古屋市立大学	名城大学	中部大学	愛知工業大学
愛知大学	愛知教育大学	人間環境大学	三重大学
滋賀県立大学	龍谷大学	滋賀大学	京都大学
京都工芸繊維大学	京都府立大学	同志社大学	立命館大学
京都産業大学	京都教育大学	大阪大学	大阪教育大学
大阪公立大学	関西大学	近畿大学	摂南大学
大阪工業大学	神戸大学	兵庫県立大学	関西学院大学
甲南大学	奈良女子大学	奈良教育大学	和歌山大学
鳥取大学	公立鳥取環境大学	島根大学	岡山大学
広島大学	県立広島大学	山口大学	水産大学校
山陽小野寺市立山口	東京理科大学	徳島大学	香川大学
愛媛大学	高知大学	高知工科大学	九州大学
九州工業大学	北九州市立大学	福岡大学	福岡女子大学
福岡教育大学	佐賀大学	長崎大学	熊本大学
熊本県立大学	宮崎大学	鹿児島大学	琉球大学

別表2 芸術分野対象大学

計 80 大学

(太字 33 校は環境と重複)

札幌市立大学	札幌大谷大学	岩手大学	東北生活文化大学
東北工業大学	秋田大学	秋田公立美術大学	東北芸術工科大学
筑波大学	茨城大学	宇都宮大学	群馬大学
千葉大学	埼玉大学	城西国際大学	東京学芸大学
東京藝術大学	日本大学	東洋大学	桜美林大学
昭和女子大学	玉川大学	多摩美術大学	デジタルハリウッド大学
東京家政大学	東京工科大学	東京工芸大学	東京造形大学
文化学園大学	武蔵野美術大学	和光大学	女子美術大学
横浜国立大学	東海大学	関東学院大学	横浜美術大学
新潟大学	長岡造形大学	富山大学	金沢美術工芸大学
山梨大学	信州大学	静岡大学	静岡文化芸術大学
愛知教育大学	愛知県立芸術大学	名古屋学芸大学	名古屋芸術大学
名古屋造形大学	成安造形大学	京都工芸繊維大学	立命館大学
京都教育大学	京都市立芸術大学	京都芸術大学	京都精華大学
京都美術工芸大学	嵯峨美術大学	大阪教育大学	大阪芸術大学
大阪成蹊大学	近畿大学	宝塚大学	大手前大学
神戸芸術工科大学	奈良教育大学	和歌山大学	岡山県立大学
尾道市立大学	広島市立大学	安田女子大学	鳴門教育大学
愛媛大学	高知大学	九州大学	福岡教育大学
九州産業大学	佐賀大学	崇城大学	沖縄県立芸術大学

(様式1)

公益財団法人いであ環境・文化財団

令和6年度 奨学金給付願書

写真添付
(3.5×4.5cm)

※記入日現在

フリガナ		応募分野	生年月日	
氏名		環境・芸術 (いずれかに○) ただし、大学ごとに指定する対象 分野以外の応募は不可。	西暦 年 月 日 (満 歳)	
フリガナ	〒		電話	
現住所			(自宅)	
Email (PC)				
Email (携帯)			(携帯)	
フリガナ	〒		電話	
帰省先				
在学大学	大学 大学大学院	学部 学研究科	学科 専攻 年生 課程 年生	
	上記いずれかを記入			
学歴 (高校以上)	学校名・学部名	入学年月	卒業または中退年月	備考
		留学経験のある場合は、留学先・国名と期間		

他の奨学金（併給不可型）への応募の有無 (応募の有無は選考評価に影響しません)

有 ・ 無 (該当する方に○をしてください。)

有の場合は決定の予定時期を記載してください

月 日 予定

(複数の場合は最も早く決定する予定のものを記載)

令和 年 月 日

公益財団法人いであ環境・文化財団

代表理事 田畑 日出男 様

上記のとおり記載事項に相違ありません。

貴財団の奨学生として採用いただきたく関係書類を添えて出願します。

本人氏名

印

(様式2)

財団使用欄

GPA計算書(成績証明書に添付)

応募者氏名

印

学部

所属大学

学部/学科

評価	点数	GP	単位数
S・秀	100-90	4	
A・優	89-80	3	
B・良	79-70	2	
C・可	69-60	1	
総取得単位数			

修士課程
博士前期課程

所属大学

研究科/専攻

評価	点数	GP	単位数
S・秀	100-90	4	
A・優	89-80	3	
B・良	79-70	2	
C・可	69-60	1	
総取得単位数			

※認定単位及び不合格(D/不可)の単位は含めずに計算する

※博士課程・博士後期課程の成績については提出及び計算は不要

※大学の評価基準が上記と異なる場合は、①GPAが計算できる書類、②評価の基準が判る書類、③評価段階毎の単位数の集計を上表に倣って作成し、添付してください。

(様式3)

公益財団法人いであ環境・文化財団
代表理事 田畑 日出男 殿

公益財団法人いであ環境・文化財団
奨学生推薦書

下記の者を、貴財団の令和6年度奨学生として適当な者と認め、推薦いたします。

記

被推薦者氏名 _____

学部/学科/学年 _____

令和 年 月 日

大学名

学長名

印

(様式 4)

(推薦理由の記入はワープロを推奨します。その場合、必要事項が記入されていれば、本様式にこだわりますが、文字サイズは11ポイント以上、A4サイズ用紙1ページに収めてください。)

【 被推薦者氏名 】 _____

【 推 薦 理 由 】

指導教員 所属
氏名

_____ 印

(様式 5)

個人情報の取扱いに関する同意書

当財団は、以下の「個人情報保護方針」に従い、奨学金制度の募集に関してお預かりする応募者の個人情報（願書等）を取扱います。これに同意いただける場合は、同意書にご署名いただき、願書等とともにご送付いただきますようお願いいたします。

公益財団法人いであ環境・文化財団
代表理事 田畑 日出男

個人情報保護方針

公益財団法人いであ環境・文化財団（以下当財団）は、平成 17 年 4 月 1 日から全面施行された「個人情報の保護に関する法律（以下、個人情報保護法といいます。）」に則り、職務に関連する個人情報の取得・利用・管理等の取扱いについて、以下の通り個人情報保護方針を定めます。

1. 個人情報に関する法令などの遵守

個人情報に適用される関係法令・ガイドライン等を遵守し、個人情報の取扱いを適切に行います。

2. 個人情報の収集

個人情報は、適正な手段により取得します。

3. 個人情報の利用目的

個人情報の利用目的は、本財団の奨学金制度に関し、募集要領等の送付、選考結果の連絡・公表、その他当財団の事務連絡等に利用することがあります。個人情報の利用は、利用目的の達成に必要な範囲で行います。

4. 個人情報の開示について

個人情報を上記 3. 以外の目的で第三者に提供する場合は、予め本人の同意を得ることとします。また、個人情報の取扱を第三者に委託する場合は、安全管理が図られるよう適切に対処します。なお、法令上開示すべき義務その他緊急の必要がある場合には、例外的に個人情報を第三者へ提供することがありますので、ご了承ください。

5. 個人情報の適正管理

応募者からご提供いただきました個人情報について、漏洩、改ざん、紛失などの事態が生じないように、適切な安全管理措置を講じます。

同意書

上記、個人情報の取扱いについて同意します。

令和 年 月 日

氏 名

印

様式 6

(応募理由の記入はワープロを推奨します。その場合、必要事項が記入されていれば、本様式にこだわ
りませんが、文字サイズは11ポイント以上、A4サイズ用紙1ページに収めてください。)

令和6年度 いであ環境・文化財団 奨学金応募理由書

大学(院)名：

氏名：

1 1) 将来の目標や進路

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23 2) 奨学金の使途(調査・研修・学会・セミナー参加等のための旅費、作品の材料や制作に掛かる
24 費用等に使用する予定等があればそのことも記載)について、できるだけ具体的にお書きください。

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38